

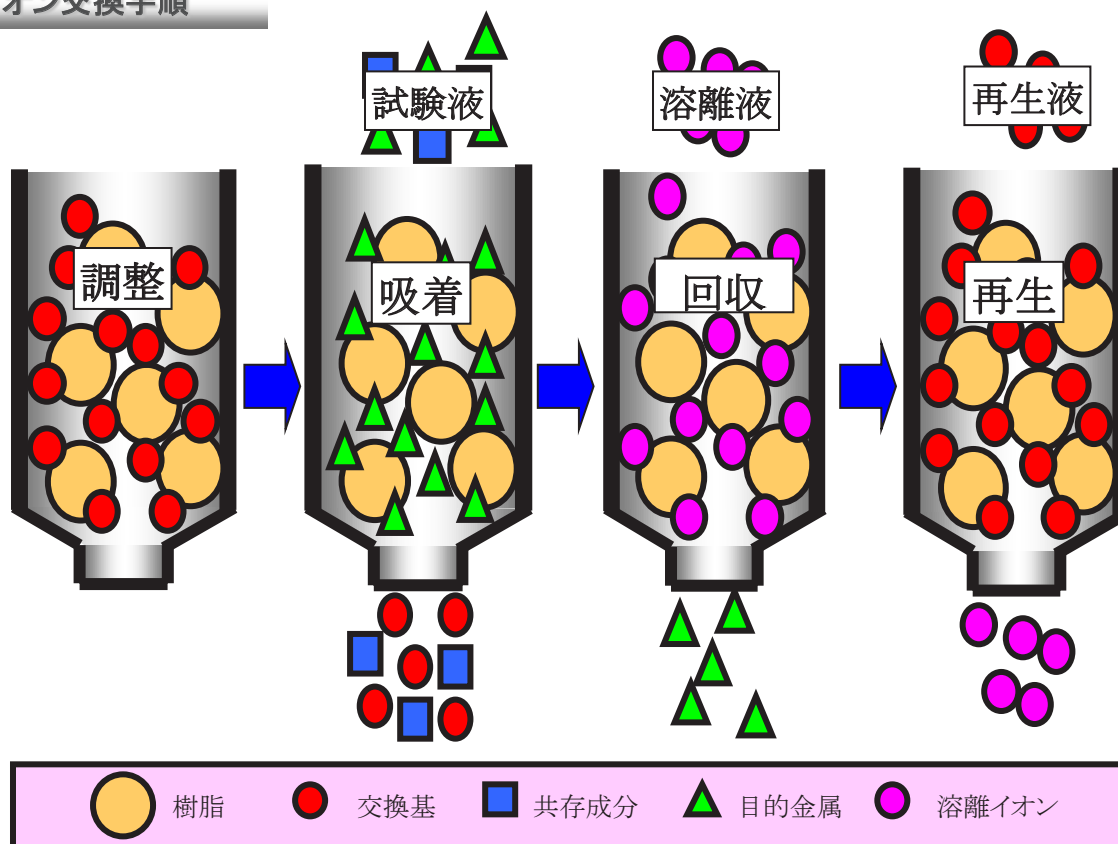
イオン交換樹脂による共存成分の分離 イオン交換分離—ICP/MS法

高感度・高精度な分析を行なうためには、妨害元素が少量共存しているだけでも分析精度に重大な影響をおよぼします。

1. イオン交換の原理

イオン交換樹脂は、酸の種類、濃度及びpH等の違いにより、吸着する成分が異なるという性質があり、分析においては液性を変化させる事で目的成分と妨害成分の分離に用います。

2. イオン交換手順



3. イオン交換前処理によるICP/MSの適用実績

- ・酸化亜鉛、酸化マグネシウム中の超微量ウラン、トリウム分析 (定量下限:0.1ppb($\mu\text{g}/\text{kg}$))
- ・LSI用高純度アルミニウム中の超微量ウラン、トリウム分析 (定量下限:0.05ppb($\mu\text{g}/\text{kg}$))
- ・高純度鋼中のジルコニウム、タングステン等難溶性金属分析
- ・アルカリ融解処理試験液中(難溶性試料中)の超微量金属分析
- ・海水中の超微量有害金属分析